

Supported by



ISSN 2433-4944 (online)
ISSN 0912-7437 (print)



海ごみをみんなで なくそう



「海ごみ」をみんなでなくそう！



「海ごみ」ってなに？

海にはいろんなものが浮いて流れていたり、海岸に流れ着いたりしています。みなさんも海水浴や釣りなどで海に行ったときにペットボトルやお菓子の袋などが海に浮かんでいたり、発泡スチロールや網・ロープなどが海岸に流れ着いたりしているのを見たことがあると思いますが、これらが「海ごみ」です。

海ごみは、海面や海中を流れて漂っているものを「漂流ごみ」、海岸に流れ着いたものを「漂着ごみ」、あまり見ることはないと思いますが海の底に沈んでいるものを「海底ごみ」と呼んでいます。

また、海ごみの多くは陸上で捨てられたごみだといわれていますが、台風や洪水などの自然災害により海に流れてしまったものや、遠い外国から流れ着いたものもあります。

環境省の調査（2010年時点）によると、世界では毎年少なくとも800万トンのプラスチックごみが海に流れ出していて、日本からも毎年2～6万トンのごみが流れ出ていると推計されています。



どうして海にごみが集まるの？

どうして陸上で捨てられたごみが海に集まるのでしょうか？

それは川がごみを海まで運んでくるからです。川はいくつもの町をって最後は海に流れ込んでいることはみなさんも知っていると思います。

この川の水が海に流れ込むまでの間に、河川敷や道路などに捨てられたごみが風で飛ばされたり、雨で流されたりして川に落ち、海までごみが運ばれていくことになります。

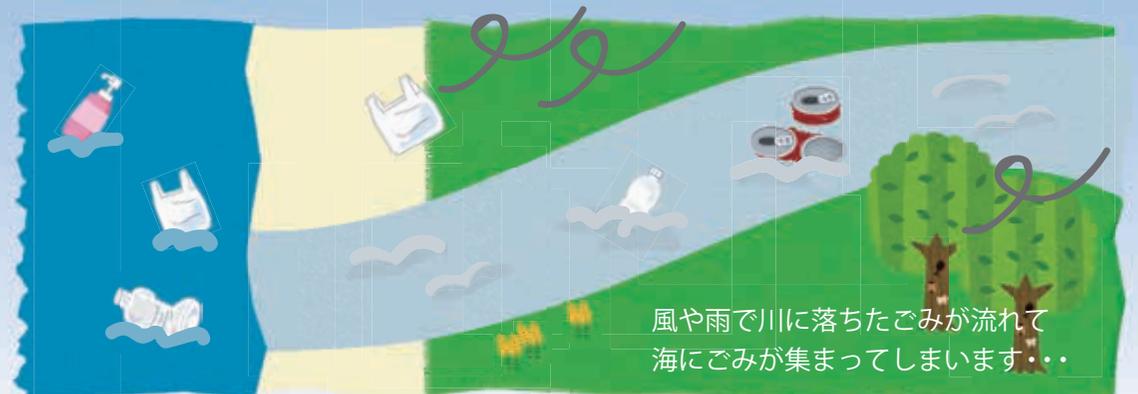
つまり、海ごみは海や海岸に捨てられたごみだけではなく、川の流れによって遠くから離れた場所からも多くのごみが運ばれ、海に集まることになるからです。

豆知識

たくさんの方が乗っている大きな船のごみなどはどうしているのでしょうか？

大きな船で出たごみは海洋汚染防止法という法律でごみ処理の方法が決められていて、船から海にごみを捨てることは禁止されています。

このため、大きな船にはごみを保管する場所や焼却炉があり、燃やしてもよいごみは焼却し、燃やしてはいけないごみは保管場所で保管して、港に着いたときに船から陸揚げされて処理されます。



風や雨で川に落ちたごみが流れて海にごみが集まってしまいます・・・

海ごみはどんなものが多いの？

環境省がおこなった漂着ごみ（個数）調査の結果によると、漂着ごみはプラスチック類、発泡スチロール類、布類、ガラス・陶器類、金属類、紙・ダンボール類、ゴム類、木片などいろいろなものが海岸に漂着しているのですが、もっとも多いのはペットボトルやレジ袋などのプラスチック類で、調査した地域の平均で漂着ごみ全体の約80%を占めています。

また、漂着したペットボトルを製造国別の割合で見ると、太平洋側では日本製のものが多く、日本海や東シナ海では中国・韓国製のものが多く傾向にあるとのこと。



海ごみはどんな影響があるの？

海ごみの中でも一番問題なのはペットボトルやお菓子の袋などのプラスチック製品です。プラスチックは自然界では分解されないため、小さくなくても無くなることはありません。このため、魚などの海洋生物がエサと一緒に飲み込んだり、エサと間違えて食べたプラスチックが体内に溜まると死んでしまいますので、海の生態系を壊してしまう可能性が考えられます。

このほかにも、漂流しているごみが船のプロペラに絡まり動けなくなったり、ポンプにごみが詰まり、船のエンジンを冷やすための海水を吸い上げられなくなり、エンジンが止まってしまうことがあります。そうすると、船が港に帰れなくなったり、旅客や貨物などを運べなくなるといったことが考えられます。



海に浮いているごみ



海岸に流れ着いたごみ

ペットボトルやビン、陶器片などいろいろなものが流れ着いています

また、沿岸がごみで汚れていると嫌なにおいがしたりして、近くに住んでいる人の環境に影響が出ることも考えられます。

このまま海ごみが増え続けると、2050年には魚より海ごみの量が多い海となってしまうと予測されています。



地域のみなさんによる海岸清掃活動

STOP OCEAN PLASTIC POLLUTION

魚がプラスチックを食べている??



クジラなどの大きい海洋生物がエサとレジ袋やペットボトルなどを一緒に飲み込んだり、クラゲなどをエサにしているウミガメなどがクラゲと間違えて食べてしまったりすることは知られていましたが、カタクチイワシなどの小さい魚もプラスチックを食べてしまっていることが分かってきました。

このカタクチイワシなどの小さい魚が食べているプラスチックは、海を漂流している長い年月の間に劣化して割れたり、削れたりして5ミリ以下のサイズになった小さなプラスチックで、「マイクロプラスチック」と呼ばれています。

実際、2015年に東京湾で獲れたカタクチイワシを調査したところ、8割近くの内臓からマイクロプラスチックが見つかったとの記事が新聞などで報じられています。



マイクロプラスチック



砂浜の砂に混じっているマイクロプラスチック片

海ごみの80%は陸上から排出されているといわれています。また、ペットボトルやお菓子の袋などのプラスチック製品は自然界では分解されませんので、小さくなったり、形が変わったりしてもずっと海のごみとして残ります。

ですので、普段から「外で出たごみは家に持ち帰る、または決められた場所で処分する」「毎日の暮らしのなかでできるだけごみを出さないようにする」、この2つをみんなが心掛けるだけで海ごみは減り、海の環境も改善できると思われま

具体的には「ごみをごみ箱以外のところに放置しない」「側溝などの隙間にごみを捨てない」「マイバッグ（エコバッグ）を持ち歩く」などちょっとしたことで海ごみを減らすことができます。

また、地域などでおこなわれている海岸の清掃活動に参加することで海ごみを減らすことができます。

海ごみをなくすにはどうすればいいの？

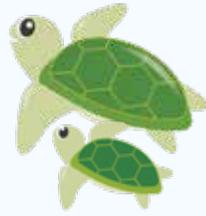


豆知識

マイクロプラスチックより小さい「マイクロビーズ」と呼ばれるプラスチックがあります。これは直径が0.5ミリ以下のプラスチック粒子のことで、洗顔料やボディウォッシュ、ハミガキ粉などに添加されています。



たいさく 海ごみ対策への取り組み



環境省「Plastics Smart (プラスチック・スマート)」

環境省では、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取り組みとして、不必要なワンウェイのプラスチック排出抑制や分別回収の徹底など、"プラスチックとの賢い付き合い方"を全国的に推進し、取り組みを国内外に発信する「Plastics Smart」キャンペーンを2018年10月に立ち上げました。

詳しくは環境省ホームページ「Plastics Smart」→ <http://plastics-smart.env.go.jp/>

日本財団「CHANGE FOR THE BLUE (チェンジ・フォー・ザ・ブルー)」

日本財団では、国民の一人ひとりが海ごみの問題を自分ごと化し、"これ以上海にごみを出さない"という社会全体の意識を高めるため、「海と日本プロジェクト」を基盤とした産官学民が協力し合う取り組み「CHANGE FOR THE BLUE」を2018年11月より推進しています。

詳しくは日本財団ホームページ「海と日本 PROJECT」→ <https://uminohi.jp/>

日本財団と富山市の「海洋ごみ対策モデル」

「CHANGE FOR THE BLUE」を進める日本財団が全国の自治体に先駆けて富山市と海洋ごみ対策のモデルづくりを始めました。

共同事業の柱は調査・分析、教育・啓発、そして、行動・実施の3つ。

まずは、川から海にごみが出ている実態を調べます。

そして子供たちが海洋ごみについて学ぶモデル授業や道路脇の排水溝などに啓発サインを掲示してポイ捨てをしないよう呼びかけます。

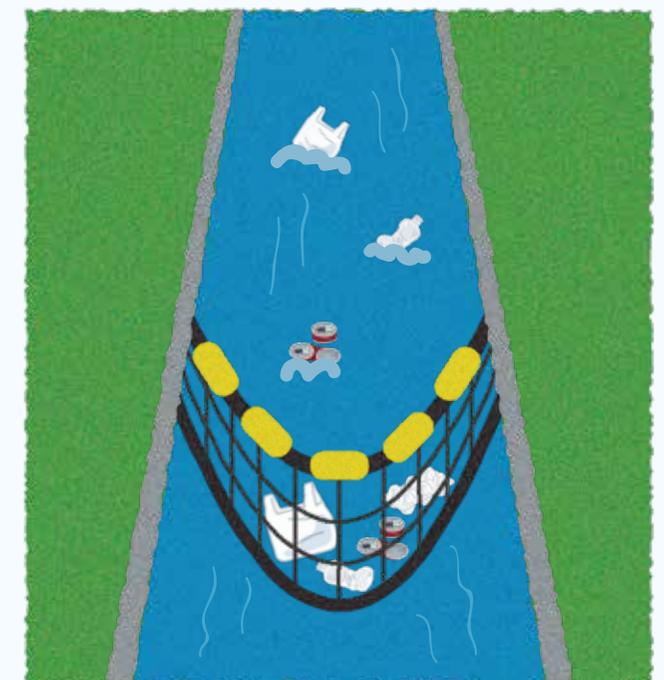
さらに市民一斉のごみ拾いや企業フォーラムの実施、地元のプロスポーツチームと連携した全国発信が盛り込まれています。

中でも、とりわけ注目されているのが新年度、富山市がおよそ2000万円の予算を計上して海洋プラスチック対策に乗り出す新事業です。

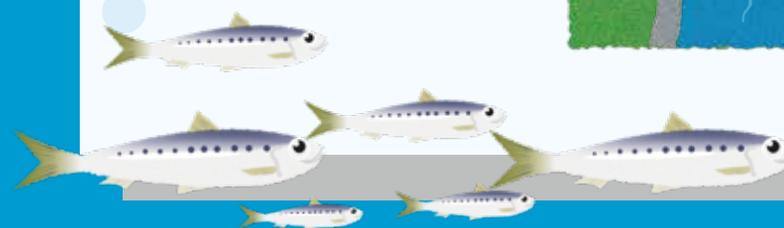
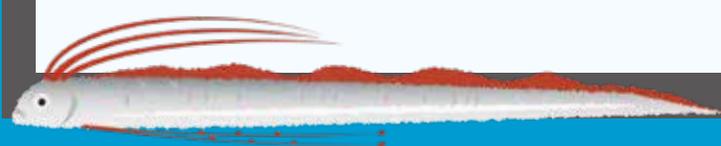
「網場」の設置に向けた調査、検討

川幅いっぱい浮きをつなげた網を張り、流れてくるごみを溜めて回収する仕組み。

海洋ごみの多くは海外から流れ着いていると思いがちですが、実は、海のごみの8割は川を通じて海に流れ出たものと言われています。



網場のイメージ図
川に網場を設置し、ごみを海に出さない



重点事項 1 小型船舶の海難防止



出航する前にはしっかり確認、航海予定の周知を!!

プレジャーボートの海難が一番多いのがエンジントラブルです。下船後や出航前には
●燃料 ●エンジンオイル
●バッテリー ●冷却水 などの
の検査を確実にし、安全航行を心がけましょう。また、家族やマリーナ等に航海予定を伝えておくなど、万が一に備えましょう。

重点事項 2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

海難で一番多いのが衝突であり、原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」が多数を占めています。

1 常時適切な見張りの徹底

「居眠り運転」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

2 船舶間コミュニケーションの促進

十分に余裕のある時期に船舶間コミュニケーションを図り、相手船の動きを把握し、適切な操船を行いましょう。

- 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
- 国際VHFや汽笛信号などを活用する
- AIS情報の活用と正しい情報の入力



重点事項 3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

万が一、海に転落した場合、①海上に浮く②速やかに救助要請という2点が必要不可欠です。



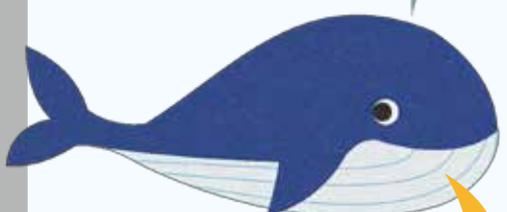
- 1 ライフジャケットの常時着用
- 2 適切な連絡手段の確保
- 3 海の緊急通報

小型船舶の船長が遵守しなければならない事項

モーターボートや水上オートバイなどのプレジャーボート、その他の小型船舶を安全に利用していただくため、小型船舶操縦者(船長)に対し、法令で遵守事項を定めています。

- 酒酔い等操縦の禁止
- 危険操縦の禁止
- 免許者の自己操縦
- ライフジャケットの着用
- 見張りの実施
- 発航前の検査
- 事故時の人命救助

平成30年2月1日以降、小型船舶の船室外の甲板上では、原則、すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務となりました!



7月16日～31日は

海の事故ゼロ
キャンペーン!

3つの重点事項を確認して
お出かけください

JAPAN COAST GUARD

海の安全情報

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事などの「海の安全情報」を提供しています。「海の安全情報」は、パソコンやスマートフォン等で誰でも簡単に利用することができます。

スマートフォン用サイトの表示
スマートフォンのGPSの位置情報により、現在地周辺の気象・海象の現況、緊急情報等を地図画面上に表示することで、簡単に必要な情報を利用することができます。

- 気象現況のアイコンをタップすると「風向、風速等」の数値等が確認できます。
- 海況情報のアイコンをタップすると「船隻の多寡する海域」の情報が確認できます。
- 現在の座標、現在の緯度・経度を表示します。
- 海難防止に係る安全確保情報等の表示
- 全国的に共通する情報や海上保安部等が提供する情報(地域情報)が確認できます。
- 緊急情報
- 緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に影響のある緊急情報が確認できます。
- 気象警報・注意報等
- 気象警報・注意報等のアイコンをタップすると気象庁が発する気象警報・注意報等を確認できます。

※イメージ図です

パソコン用サイト スマートフォン用サイト 携帯電話用サイト

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

緊急情報配信サービス
24時間休まず海上保安庁が発する緊急情報や気象庁の気象警報・注意報等を電子メールで配信します。

新規登録ページ

検索

重点事項 1 小型船舶の海難防止

重点事項 2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

重点事項 3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

主催 (公社)日本海難防止協会 (公財)海上保安協会 海上保安庁
後援 総務省 スポーツ庁 水産庁 国土交通省 海難審判所 気象庁 運輸安全委員会 (公財)日本海事センター

海の事故 ゼロ キャンペーン

2019 7/16▶31
海難0への願い

海の情報は
ここでGET!

海の安全情報

※イメージ図です

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

海の安全情報 で 検索



海と安全 No. 581 (第 54 卷)

発 行 2019 (令和元) 年 6 月 15 日

発 行 所 公益社団法人 日本海難防止協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-3 磯村ビル 6 階

TEL. (03) 3502-2231 FAX. (03) 3581-6136

E-mail. 2231jams@nikkaibo.or.jp

URL. <http://www.nikkaibo.or.jp>

印 刷 所 倉敷印刷株式会社